



あさひ



朝日ヶ丘小学校
令和7年 5月 吉日
学校 だ よ り

新しい環境での生活がスタートして1か月が経過しました。1年生は学校生活に慣れてきたようです。元気な挨拶が気持ちよく感じられます。また2年生以上の子供たちも、廊下ですれ違った際には、軽く会釈ができる姿に、本校の児童は場に応じた挨拶が、きちんとできていることを感じています。これもご家庭で、基本的な生活習慣をしっかりと身につけていただけていることからと思います。

過日の学級懇談会では、ご多用にもかかわらず多数の保護者の皆様に来校いただきありがとうございました。今年度の学級学年の方針、経営について聞いていただきました。学校生活の理解の一助となればと思っております。

さて、新しい環境に慣れてくると、子供たちは日々の生活の中で思いどおりにならないことに出会うことがあります。勉強のこと、遊びのこと、友達関係など、思いどおりにならず悩むことも多いと思います。そのような時に、どう解決していくか「解決の仕方を学ぶこと」も生きていく上ではとても大切なスキルです。これを身につけていくためには、様々な体験をすることと、お互いの人間関係が重要になります。遊びの中での譲り合いや諦めずに努力して、今までできなかったことができるようになること等、一つ一つの体験を通して頑張る力や我慢する心、人に感謝する気持ちなどを身につけていきます。朝日ヶ丘小の子供たちは、思いどおりにならないことを乗り越えて、成長していくことができると信じています。

そう考えると、壁にぶつかることも子供の成長には欠かせないことだと思います。コロナ禍はだんだんと過去のことになっては来ていますが、子供たちにとってコミュニケーションを学ぶ機会が失われてしまったと言われています。この点について、教職員も意識した指導が必要と考えています。教師も子供が誤った行動をしてしまった時、単に注意をするだけでなく、「指導と支援」ということが示すとおりに、進むべき方向を指し示し導き、主体的な成長ができるよう支えていきたいと思っています。

校長 小宮 俊彦

5月の生活目標 「廊下は静かに右側を歩こう」

○廊下歩行は、交通安全指導の一つです。朝日ヶ丘小学校では、一年を通して、廊下は静かに右側を歩くように指導しています。学年・学級の実態に合わせて、具体的な目標を設定して取り組みます。